

# 平成 26 年台風 19 号から変化した温帯低気圧について

文京区立第三中学校 谷内瑛紀 堀井見久里

平成 26 年 10 月 3 日に発生した台風 19 号は、いったん、高知県と大阪府に上陸をし、大きな被害をもたらしました。その後、台風は温帯低気圧へと変わったのに、勢力が衰えず、東北地方に大きな被害をもたらしました。

台風が温帯低気圧になったら弱まってしまうのではないかと思っていたので、この台風について調べてみることにしました。

## 1. 研究方法

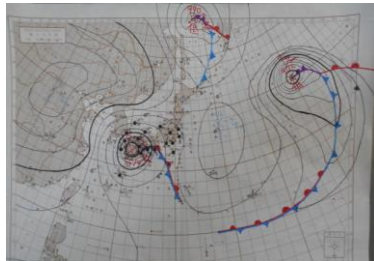
- ・平成 26 年 10 月 13 日・14 日の正午の天気図をかく。
- ・気象庁や内閣府の資料から、平成 26 年台風 19 号の被害について調べる。
- ・台風から変わって発達するおそれがある温帯低気圧につける名前のアンケートをとる。

## 2. わかったこと

【平成 26 年台風 19 号について】平成 26 年 10 月 3 日に発生した台風 19 号は、発達しながらフィリピンの東海上を西に進み、8 日から 9 日にかけて中心気圧が 900hPa にまでなりました。12 日は、沖縄を通過し、東シナ海で進路を北東に変えて、13 日には鹿児島県・高知県と大阪府に上陸をしました。

その後、台風 19 号は近畿地方・東海地方・関東地方を進み、14 日午前 3 時には、中心気圧が 985hPa になりました。その後、14 日の 9 時には三陸沖に達し、温帯低気圧となってふたたび発達して、中心気圧は 980hPa となりました。

ラジオの気象通報から天気図をかいてみると、13 日正午には、台風であることがわかります。中心気圧は 975hPa で、強い勢力を保っていることがわかります。14 日正午の天気図では、前線をもつ温帯低気圧に変化しています。



平成 26 年 10 月 13 日正午の天気図

### 【台風と台風から変わった温帯低気圧による被害】

台風 19 号とこの台風から変わった温帯低気圧により、沖縄・奄美と西日本から北日本にかけての太平洋側を中心に大雨や暴風となり、海上は猛烈なしけとなりました。

被害は、沖縄から東北地方にかけての広範囲に及びました。鳥取県と愛媛県では、死者もでました。また、とくに浸水被害は、大阪府と兵庫県で多く、床上・床下浸水あわせて 248 戸になりました。そのほか、沖縄県や鹿児島県でも浸水の被害がありました。

台風が温帯低気圧となってから近づいた岩手県・宮城県福島県でも浸水被害が出ました。とくに東北地方では、海がしけて、大荒れとなりました。

### 【台風と温帯低気圧のちがいがい】

#### <台風>

- ・熱帯低気圧
- ・熱帯から亜熱帯地方で発生する。
- ・水蒸気を多く含んだ暖かい空気できている。

- ・暖かい上昇気流で発達する。
- ・中心に近いところの風が強い。

#### <温帯低気圧>

- ・中緯度で発生する。
- ・前線がある。暖かい空気と冷たい空気があり、暖かい空気が上昇し、冷たい空気が下降する。温度差があると発達する。
- ・中心から離れたところでも、風が強くなる。

2004 年台風 18 号も同じように、温帯低気圧に変わりがりながら再び発達し、広い範囲で台風匹敵する暴風・強風をもたらしました。そのため気象庁では、以前は台風が温帯低気圧になってからは、台風情報を出していませんでしたが、温帯低気圧になってからも災害を引き起こすおそれがある場合には、台風情報として発表を継続し、台風並みの警戒を呼びかけることにしたそうです。

### 【アンケート】

台風は、みなさんが知っているとおりに、恐ろしいです。だから、誰もが台風が来ると危機感を持って対策をとろうとします。しかし、台風が温帯低気圧に変わると、「もう台風ではなくなったから大丈夫だ」と安心してしまいがちです。しかし、実際は台風並みに発達し、大きな被害をもたらすこともあることがわかりました。そこで、『爆弾低気圧』のように、誰もが聞いて危機感を持ってくれそうな名前を、クラスのみんなまで考えました。

まず、平成 26 年台風 19 号とこの台風から変わった低気圧について説明しました。「いったん台風が衰え始めてから、温帯低気圧に変わってもう一度発達した低気圧」と説明しました。主な名前の案は次の通りです。

1 位 5 人…(再)復活低気圧

2 位 4 人…再爆走(発)低気圧・再発低気圧・覚醒低気圧

5 位 3 人…アゲイン低気圧・リポート低気圧

その他下克上低気圧・復活低気圧・危険低気圧・鬼低気圧・ゾンビ低気圧・台風型低気圧・リトライ低気圧激変低気圧・パワーアップ低気圧・しつこい低気圧ブラック低気圧・ブーメラン低気圧などがありました。

科学部では、下克上低気圧や温帯台風が人気でした。

## 3. おわりに

今回調べてみて、台風が温帯低気圧になっても、ふたたび発達することがわかりました。そして、その被害は台風並みになることを知りました。

アンケートの結果は、「台風から変化した」という部分を説明しきれない名前が多かったのも、もっとうまく説明すればよかったです。

でも、みんな真剣に考えてくれました。そのおかげで、アンケートに答えてくれた人は、台風が温帯低気圧に変わっても、危機感をもってくれると思いました。自然災害が多い日本列島ですが、台風は毎年来るものなので、危機感を持って、日ごろからそなえておくことが大事だと思いました。